

令和7年度第2回恵那市総合計画推進市民委員会 会議録

日時：令和8年2月27日（金）10時半～

場所：恵那市役所 災害対策室A・B

1 開会

2 会長あいさつ

3 副市長あいさつ

4. 報告

(1) 令和7年度恵那市市民意識調査について

資料 NO.1

(2) 令和8年度主要事業の概要について

資料 NO.2

5. 議事

地方創生交付金事業の効果検証について

資料 NO.3

資料 NO.4

6. その他

・次回：令和8年8月頃の開催予定

7. 閉会

1. 開会

■進行

定刻なので令和7年度第2回恵那市総合計画推進市民委員会を開会する。私は本日の進行の企画課の松田です。よろしくお願いいたします。

名簿6番小木曾委員は所用のため欠席。

昨年12月に民生委員児童委員一斉改選があり、4番兼山委員が新たな委員となった。

■進行

本日の会議は恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱に基づき原則公開とし、会議録も後日公表する。

2 会長あいさつ

■会長

活発な意見が頂けるよう円滑に進行を務める。

3 副市長あいさつ

■副市長

ここ数日暖かく、もうすぐ春だと感じる。2月初めは寒波や雪で寒い日が続いた。選挙、オリンピックと慌ただしい日々が続いた。今年度もあと1か月で、4月から新年度。市の定例議会も3月議会が昨日から開会した。国会はやっと始まった。国の予算の動向がまだ流動的だが、市の令和8年度予算は皆さんの意見を参考に作った第3次総合計画に基づき編成している。主要事業は本日の議題の中で説明するが、基本方針に沿って分野別の取組を整理し、20年後の恵那市の将来像を実現すべく、4年間の基本計画の期間を着実にスタートするよう事業へ反映した。本日の会議は地方創生交付金事業の効果検証がメインとなる。意見を頂き来年度に繋げたい。活発な意見を頂きたい。

4. 報告

(1) 令和7年度恵那市市民意識調査について 資料 NO.1

■進行

市民意識調査について事務局から報告する。

[事務局から資料に基づき説明]

■進行

意見等はあるか。なければ次に進む。

(2) 令和8年度主要事業の概要について **資料 NO.2**

[事務局から資料に基づき説明]

■進行

意見等はあるか。

■委員

9 ページの「ハザードマップの作成・更新」について2つ要望する。

ハザードマップを新しくするには大賛成。ハザードマップを8月か9月の防災訓練までに作り、防災訓練で使うと事業効果が高いと思う。昨年度、ハザードマップを使って防災訓練をしたが、ハザードマップは令和4年にでき、その後3年間防災訓練では使われず、資料が古かった。タイムリーにやることが大事。

2つ目。「ハザードマップの市内全戸配布」。市民意識調査の4ページでは、「自宅で災害が起きたときの指定緊急場所」は多くの人知っているが、「通勤・通学先で災害が起きたときの指定緊急避難場所」を多くの人知らないという結果。全戸配布というのは家庭に配るとのことだが、通勤・通学先での避難場所もハザードマップに書かれるので、市内企業にも社員に伝えるように依頼するとか、「岐阜山と川の危険箇所マップ」というのがインターネットに出ているので土岐や瑞浪など他市の通勤・通学先のことも分かるということを知ると良いと思う。

■総務部長

ハザードマップの更新について、当初予算で1千万円弱の予算計上をした。デジタルを活用する。今までもペーパーをPDFにしてホームページで見られるようにしているが、今回はベースをデジタルにしていろいろな情報を入れ、「今いる場所から近い危険箇所はどこか」とか、場所ごとのリスクなどを入れるようにしたいと考えている。仕様により、8月までにできるかは関係者と相談しながら進めるが、ご意見を組み込んでいきたい。

市内全戸配布については、デジタルが不得手な人もあるので、各戸にも配布し周知する。

■委員

8 ページの「高齢者のごみ出しを支援」について。ホームヘルパーが訪問先のお宅のごみ出しの支援をするが、回収時間の制約があり、ヘルパー不足で困っていた。時間が制限されなくなるので有り難い。早い段階で実現してほしい。

この説明文「訪問介護士」とあるが、「訪問介護員」の方がいい。また、令和8年度の

主な取組の一番下、「介護支援事業所」はケアマネの事業所であれば「居宅介護支援事業所」、ヘルパーの事業所なら「訪問介護事業所」という名称になる。

■水道環境部長

高齢者のごみ出し支援については前からご意見があった。事業者と相談しながらやっとここまで進めることができた。ふれあいエコプラザ、山岡、明智、岩村の4か所でやってみて、要望が増えたら増やしていきたい。ボックスの設置の関係もあるので、8月頃から始められたら良いと考えているが、なるべく早くしたい。

■委員

主要事業の概要が分かりやすくまとめられている。

6 ページの「山岡診療所に婦人科を開設」。これは有り難い。がん検診でも婦人科がなく、他県に出かける人もいと聞く。産科ではないので妊婦は関係ないと思うが、何かあったときには経過診療をしてもらえることは可能か。

13 ページの「林業の担い手」。森林環境教育事業というのはどういうことか。

■地域医療課長

山岡の婦人科の開設について、市では市立恵那病院のみに産婦人科外来がある。患者が増えており待ち時間が長いという声もある。そこで、恵那病院からの提案で今回の開設を進めている。婦人科のみで、月2回午前中の診療を予定している。開設は令和8年10月。今のご意見も病院と調整しながら準備を進める。医師は恵那病院から派遣する。

■農林部長

「森林環境教育」は広く感じるが、右の写真は保育園児が山で木を見ているところ。今の時代では難しいが、私の中学校時代は学有林に下刈りに行った。例えば木工教室などもこの事業になる。木を使った作品作りや、山に行って、山が人間の生活に良い影響を与えているということを伝える授業を想定している。

■委員

9 ページの「ツキノワグマ対策」と13 ページの林業について。山の環境の改善とか、クマとの関係もあると思うが、本当の正解が分からない。

林業との繋がりももってクマ対策などをしていただけたということが森林環境教育事業の中にもあるといいと思う。また、「昔は学有林で下刈りをしたが、今は難しいと思う」と言われたがなぜ難しいのか。

■農林部長

ツキノワグマの恵那市での目撃通報は年間40件ほど。そのうち、通報された場所に行くと、実際にツキノワグマだと確認できたのが5、6件。動きが早いため、足跡が見つからず、対応に苦慮している。目撃情報の通報の場所がだんだん山里に近くなっている。ツキノワグマ対策として檻（おり）などがここに書いてあるが、山と里との区切り、山を5

～10m下刈りして細い木を伐ってベルトを造れば、獣が隠れるところなくなる。山から出て5mのベルトがあって田んぼになるというイメージ。隠れる場所がないように造るのが山の仕事だと思う。

下刈りは、今の私の感覚だが、できればいいという思いもあって申し上げた。

■委員

6 ページの「えな野菜ファースト」は良い文言だ。能登半島地震でも地域の資源を生かして生き延びたという話がある。私が勧めるのは防災菜園。普段は家の敷地で畑を作りそれを家庭で消費するが、災害時はそれを地域のみんに分けるというもの。防災の観点もここに入れてほしい。

■事務局

検討する。

■委員

9 ページのハザードマップについて。企業側では、同じ業種の中で、災害が起こったとき、例えば旅館・ホテルの組合では、どれだけ受け入れられるかとか、防災用のトイレをこれだけ準備しているとか、何人泊まれる、お風呂に入れるなどの情報を共有し、その他準備を進めている。他の企業もそうだと思う。恵那市と企業が連携して情報がすぐに行きわたるように。災害時には体育館等の施設だけでなく、民間事業者の資源も活用していただく仕組みができるといい。

■総務部長

恵那市では災害時に多くの方に応援いただけるよう各所と協定を締結している。地方公共団体 13 協定、ライフライン 13 協定、食料・生活用品 12 協定、医療関係 2 協定、福祉避難所等 17 協定、その他 20 協定、全 77 協定があり、お互いに助け合う関係性を築いている。旅館・ホテルも協定いただきご提供いただくこともすでに進めている。他の業界団体も今後賛同いただければ進めたい。助けていただく手段はいくつも持っていた方がいいので今後も相談していきたい。

■委員

子育て支援が毎年充実していき有り難い。給食費無償化、発達支援も使いやすい。

「ポッドキャストの導入」は視覚障がい者のためというイメージで検討しているのか。SNS系は予算も大きく始めるのが大変な一方で、かなり面白くないと聴かれないので活用が難しそうと思う。どういう経緯で検討しているのか。

■総務部長

ポッドキャストはインターネットラジオとして民間では既に活用されている。自治体ではあまり例がないので、まだ手探りではある。視覚障がい者はもちろん、外国人で文字の読めない人、障がい者ではないが高齢で細かい字が読みづらい人などを対象に、広報えな

の内容をA Iで読み込ませて配信したい。例えば、ラジオのようにパーソナリティーとゲストがやりとりするような会話形式なども考えられる。常にボタンを押すと情報入手できるようにしたり、防災で避難を促すことがプッシュ型で発信されたり、様々な方法をこれから研究しながら進めていきたい。令和8年度の新たな取組としたい。アイデアや意見があれば寄せてほしい。

■進行

議事に入る。議長は会長に願います。

5. 議事

地方創生交付金事業の効果検証について 資料 NO. 3 資料 NO. 4

[事務局から資料に基づき説明]

■議長

意見、質問があれば。

■委員

「発酵のまち」は恵那らしく、すばらしい事業。今後も取り組んでいただきたい。

味噌づくり教室を小学校6校で新たに実施したという話もあったが大事なことだ。

さらに、地域への波及が大事。目標と最終的なアウトカムが弱いと思う。味噌づくりは大事だが、味噌を食べることで健康づくりにつなげるとか、そこがはっきりしない。味噌をつくれればいいということではないと思う。そこを市としてどう考えているかを明確にした方が、市民に大事さが理解してもらえる。学校から地域に波及していくといいと思う。

■事務局

発酵について、地域の食文化の素材としてどういうものがあるか、並行して検討している状態。まずは、味噌を中心に組みたい。発酵食品は、来年度、「AeruSHOP」というジバスクラム傘下のものがあるが、そこで発酵食品の取扱いを開始し、こういうものがあるということを市民に周知する。

■議長

入口からアウトカムに繋がるように検討を進めてほしい。

私から質問する。7 ページの KPI②について、コロナ禍の数値で低かったのが戻って高くなっているということだったが、コロナ禍以前はどのぐらいの値だったか。

■事務局

コロナ禍以前は8%弱ぐらい。

■議長

効果検証をするとき、目標設定の基準値がおかしかったのだと思うが、それ以前の数値も使って検証しないと妥当なものにならない。前の数値を参考値として載せた方がいい。

■委員

7 ページの KPI について。もっともな数字だと納得している。先日、武並小学校で内閣府のモデル事業をやった。武並町の工業団地の企業と連携して取り組み、企業の人が学校で授業支援をした。先生方が「武並にこういうすばらしい企業があることが初めて分かった」と言っていた。地元で工業団地の社会見学をしているのか。その話では、あまりやったことがなく、社会見学というとトヨタ自動車など市外に行くとのこと。地元の企業を見てもらうと就職に繋がると思う。地元企業にも目を向けてほしい。

■事務局

小学校から企業に訪問することはないが、商工課では子どもの仕事体験を実施している。それも踏まえ、市内の企業に目を向けてもらう取組をしたい。

■委員

学校全体をパッケージで取り組むと良い。

■委員

7 ページの KPI②について、恵那未来キャンパス構想だけで女性の転出を下げるのは非常に難しいと思う。他の事業や企業との連携、男女共同参画委員会と一緒に底上げしていかないと達成は難しい。未来キャンパスでスキルの講座を受けた人が、「スクールに通うとお金がかかるので気軽に受けられて良かった」と言っていたので良い取り組みだと思う。一方、特に地方では工業団地や行政の中でも、女性管理職がない状況があると思う。企業と連携したり市役所で女性管理職の割合を増やしたりといった取り組みを公的にやっていかないと進まないと思う。

■事務局

未来キャンパスだけで頑張っても KPI は達成できないと感じている。他との連携は常に考えている。今年度、男女共同参画プランを見直し、来年度から新たなスタートを切る。その中でも女性管理職が進出できるように取り組むこととしている。市内企業も含め、全市で取り組む。

■議長

8 月の効果検証ではそこも含めて書く必要がある。

■事務局

了解した。

■議長

これで議事を終了する。

6. その他

- ・次回：令和8年8月頃の開催予定

■進行

委員の任期は8年3月31日まで。2年間貴重な意見を頂きありがとうございました。今後も市政への理解、協力を賜りたい。

7. 閉会

■副会長

感想を3点話す。1つ目。市民意識調査について。市民一人一人の意識を丁寧に拾う姿勢に敬意を表するが、新しい総合計画も始まるので見直しをしていくことも大事。例えば、人々の意識が1年で変わることはないので、5年に1度にするとか。あるいは深掘りすることも大事。例えば、現状の調査では「この1年間市の窓口サービスについてどのように感じましたか」とあるが、「どんなときにそう思いましたか」と理由を記入する欄を追加して、改善するところを見つけるなど。

2つ目。主要事業について。目玉がよく分かり行政の意気込みを感じた。実際の運用が大事なので、一つ一つの事業を確実に成功させること、地方創生交付金事業のKPI指標をやり遂げる覚悟でやってほしい。

3つ目。地方創生交付金事業。命はKPIなので、言い訳をしないこと。数字が全て。厳しく向き合うことが大事。目に見える数字を通して目に見えないものに迫ることが求められている。数字を通してその後ろにあるアウトカムや他の事業との連携に広げないといけない。

令和8年度、自然とともに人とまちが輝く、活力あふれるまちに向かってよいスタートが切れることを願う。

■進行

これで閉会する。

[閉 会]